

災害時避難施設に係る情報提供等に関する協定 締結式



避難場所の混雑状況をスマホで確認！ 災害時の避難場所情報提供システムを運用開始

このたび、株式会社バカン（東京都千代田区。飲食店や公共施設等の空き情報を配信するサービスを提供）と長岡市が協定を締結し、県内で初めて、同社のサービスを利用した災害時避難施設の位置情報や混雑情報等の提供を開始します。

先進技術を持つ企業と共同で課題解決と市民生活の向上を図る「オープンイノベーション」の一環として、新しい発想を取り入れて災害時における避難場所での新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組みます。

協定に基づき実施する取り組み

(1) 取組の概要

災害時に避難場所を開設する際、バカン社が提供するリアルタイム空き情報配信プラットフォーム「VACAN（バカン）」を利用して、避難場所の開設情報や混雑情報を配信。平常時においても、避難場所の位置を確認することが可能となる。

マップ上で近くの施設等の空き・混雑状況を一覧できるサイト「VACAN Maps（バカン マップス）」(<https://vacan.com>) にスマートフォンやパソコン等でアクセスすることで、長岡市が設置する全249避難場所の位置や混み具合を確認できる。

混み具合の情報は、各避難場所や災害対策本部の職員がインターネット上の管理画面を操作し、「空きあり」「やや混雑」「混雑」「満」の4段階で表示する。



【イメージ】



裏面へ続く

(2) 見込まれる効果

災害時における避難場所の混雑情報をリアルタイムで発信することで、市民が自ら空いている避難場所を確認し、避難先の選択が容易になる。これによって各避難者の過度な集中を避けることができ、避難場所における感染症のリスクの低減が期待される。

(3) 役割分担

【株式会社バカン】長岡市から提供された情報を自社サービス上に掲載し周知

【長岡市】避難場所に係る情報をバカン社に提供

(4) 協定締結日（運用開始日）

令和2年12月22日

(5) 株式会社バカンについて

平成28年6月設立。経済産業省が選定する官民による支援プログラム J-Startup 2019 選定企業。IoT、AI を活用してあらゆる空席情報の収集と提供に取り組む。レストラン街やカフェ、トイレ、会議室、社員食堂などの空き状況をセンサーやカメラで自動検知し、デジタルサイネージやスマートフォンに配信するサービスを提供している。

代表取締役 河野剛進（かわの たかのぶ）

本社所在地 東京都千代田区永田町2丁目17-3 住友不動産永田町ビル2階

同社ホームページ <https://corp.vacan.com>

問い合わせ：

（災害対策全般について）危機管理防災本部 電話(0258)39-2262

（リアルタイム空き情報配信プラットフォーム「VACAN」について）

株式会社バカン 担当：町田 電話(070)7531-9647